

令和3年度第2回前橋市食育推進会議(書面) 質問及び意見への回答

1 議事

(1)第3次前橋市食育推進計画の進捗状況について

意見・質問あり

No.	委員名	ご質問等	回答
1	委員	事業実績について、わかりやすくまとめられていると思いました。気になったこととして、改めてじっくり確認してみると、4つの基本目標と事業内容との整合性が紙面でできないものがいくつかありました。例えば、基本目標「つたえる」と3歳児健診などは、地域の食文化を「つたえる」とこと、3歳児健診の目的や具体的内容の何がつながっているのかわからないと感じました。目的や内容、評価は目標とのつながりを意識して記載すると良いと思います。	(健康増進課)実績シートについて、各事業の目標とのつながりを整理していきます。また、基本目標と事業内容との整合性を意識した記載になるよう事業担当課に周知します。
2	委員	4つの基本目標ごとにまとめられているのもわかりやすく、興味を持って拝見しました。乳幼児から高齢者までとあらゆるライフステージにおける事業、さらに、社会福祉から食文化、防災等と幅広い取り組みが実施されていたことがわかります。若い世代に向けた食育に関する情報提供の事業を前年度より増やして実施していただいているのも心強いと思いました。また、コロナ禍にあってリモートでの事業展開が多くなっていることも特徴的でした。コロナ禍にも関わらず、多くの事業が遂行されたことは第4次食育推進計画の実施に確実に繋がっていくものと思われま。皆さまのご努力に感謝申し上げます。	(健康増進課)令和3年度は庁内関係課により、食育に関する事業が72事業展開されました。引き続き、ライフステージに応じた食育をさまざまな場面で推進していきます。
3	委員	幼児期の取り組みが充実しており、参加者も多く、このまま取り組みを継続していただければと思います。	(子育て支援課)引き続き、保護者の不安が軽減できるよう実施していきます。
4	委員	・若い世代への食育 大学生に向けた食育に関する情報提供というのがあり、授業後のアンケート結果も良い結果がうかがわれていました。何をしてもこのような状況下での実施は大変かと思われまますが、実施されたことにより、今回行われた「食育に関する市民意識調査」の数値も令和4年度の目標値達成へと少しでも近づくのかと思いました。	(健康増進課)「食育に関する市民意識調査」において、大学生等の若い世代はSNSツールにおいて情報を入手している状況が見えてきました。この結果を活かし、若い世代に向けて情報を提供していきます。
5	委員	令和3年度下半期「食育事業実績シート」拝読させていただきました。コロナ禍における様々な制約の中でも、各取り組みが誠実になされており大変頼もしく感じました。	(健康増進課)前述と同様、引き続き、ライフステージに応じた食育をさまざまな場面で推進していきます。

6	委員	<p>資料1、P1～4乳幼児健診での取り組み、P5、P69幼保の保護者と子どもへの取り組みは親子の食育への関心を高める効果が大変高いと感じます。それが議事(3)の小・中高生の食育への関心の高さにつながっているのだと思いました。</p> <p>・P64食に関する情報提供について 献立表・給食だよりが紙ではなくタブレットでの配信となったことでの我が家の変化ですが、子どもは紙の時は献立表しか見ず、裏面にお便りでいろいろなことが書いてあることに気づきもしていませんでしたが、タブレット配信となったことでお便りの方も読むようになりました。親側の変化としてはスマホで確認してまで献立を気にしなくなってしまい、夕食と重なることが増えました。</p> <p>・P66行事食と郷土食について とても良い取り組みだと思いますので、これからも続けていただきたいです。親世代の郷土食を知らない、作れない家庭もあるので、給食を通じて自分の住む町の美味しい料理の味を知って伝えていってほしいです。</p>	<p>(健康増進課)食に関する知識や望ましい食習慣を身につけていくために、家庭や学校、地域などさまざまな場で、食事を楽しみながら、さまざまな体験や学習を通じて、食への興味や関心を深めていくことができるよう、引き続き子どもたちへの食育を推進していきます。</p> <p>(教育委員会総務課)タブレット配信により、写真やイラストがカラーで掲載できるようになったため、従来の紙での配布時と比較すると内容も充実してきています。今後は、保護者の方にとっても活用したいと感じていただける配信となるよう研究を進めていきます。</p> <p>給食での提供とあわせた献立だよりや放送資料での説明を通じて、児童・生徒が郷土料理など地域の食文化について理解を深めていけるよう努めていきます。</p>
7	委員	<p>1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査について、コロナの感染状況による市が考える中止や実施状況の変更等の基準はありますか。</p>	<p>(子育て支援課)新型コロナウイルス感染状況に応じて、医師会や歯科医師会と協議し、中止や変更等について決定しています。</p>
8	委員	<p>新型コロナウイルスの対応に追われる中、種々の活動についてご尽力頂きましてありがとうございます。</p> <p>事業実績シートを拝見させていただき、コロナ対策に気を付けながら、対面などで、実施できるよう工夫されていることが分かります。</p> <p>食育推進にあたり、増々、世代別に対応が迫られると感じています。高齢世代は、対面で、働く世代では、事業所(職域)など、若者世代は、SNSなど活用した情報発信が求められると感じています。今回の事業にも、そのような事業展開をしていることが、理解できました。今後、教育現場、事業所など連携して、若年層、壮年層への、食育の推進していくことが大切と感じました。</p>	<p>(健康増進課)前述と同様に、「食育に関する市民意識調査」において、大学生等の若い世代を中心にSNSツールにおいて情報を入手している状況が見えてきたように、ライフステージに合わせた情報提供の方法を工夫するとともに、比較的食育に関心の低い若い世代・働き世代が少しでも食育に関心が持てるよう、学校・企業とも連携していきます。</p>
9	委員	<p>・若い世代への食育(大学生に向けた食育に関する情報提供) 自分も身に覚えがありますが、大学時代から親からの管理も離れ始める、でも若さのエネルギーでなんとかなる時期のため、食育や健康管理が最も疎かになってくる時期だと思います。そのような中、大学生に対して真面目に食育について教育する意義は大きいと思いました。</p> <p>・桂萱オンライン講座「桂萱キッチンゼミ」 動画を視聴しました。再生数も思っていたより多く、実際面白いと感じました。こういった動画、他の自治体でも面白いものがあれば見てみたいと思います。自治体間のこういったレベルでの連携などがあれば、情報提供いただきたいです。</p>	<p>(健康増進課)若い世代を中心とした食育啓発を行うことは計画の基本方針の一つです。次年度は新たに学生向けに朝食の重要性と簡単な調理の方法等を伝える講座を実施予定です。</p> <p>また、高崎市と食育推進連携事業を行っており、両市で共通テーマとしている市民の野菜摂取向上の取り組みの一つとして、高崎市公式YouTubeにて「やってみよう！食育クイズ～知って得する！野菜の魅力～」の動画を配信しています。ぜひご覧ください。</p>

10	委員	<p>コロナ禍の中、下半期も各課工夫を重ねて多くの活動を取り組み、計画、実践されていることがよく分かります。リモート、動画配信など利用される方は便利だと思いますが、高齢な方々はなかなか見ることができないと思います。</p>	<p>(健康増進課)新しい生活様式に対応して、対象者に合わせてオンラインと対面の活用を今後も継続して実施していきます。</p>
11	委員	<p>おくちげんき教室では、実際に娘が幼稚園でお話をききました。その日のことを、とても楽しそうに話してくれて、歯磨きを自分から取り組むようになりました。(4歳)歯の健康の大切さを、小さいながらも学べたようで、とてもありがたかったです。</p>	<p>(子育て支援課)引き続き、正しい歯みがき習慣を身につけるために、子どもたちへ分かりやすく伝えられるようおくちげんき教室を実施していきます。</p>

(2) 第4次食育推進計画の策定に向けて

意見・質問あり

1	委員	上記(1)に示すように、基本目標と各事業内容の整合性(特に基本目標が複数にわたる場合)を意識した計画策定をされると良いと思います。 アンケート結果の表示の工夫(クロス集計、検定など)も実施してみる価値があると思います。	(健康増進課)基本目標や基本方針等、施策の体系を整理していきます。今回の調査では、単純集計だけでなく、必要項目についてクロス集計を行いました。報告書を後日提示させていただきます。
2	委員	基本的な考え方に示されているように、めまぐるしく変化していく社会情勢の変化に対応できるよう、国や県の動向を捉えながら実効性のある計画を立てていきたいですね。一人ひとりが、どのように食べたら元気で楽しく生きられるのかということ学び、それを実行できる力を身につけるための支援について考えていきたいと思います。朝食の欠食問題、地産地消の推進、SDGsに関わる食品ロスの問題、生活習慣病対策等、課題山積ですが新たな施策の方向をお示し下さいますようお願い致します。	(健康増進課)次期計画策定にあたり、食育推進会議等において、委員さんの意見を反映させていただきます。
3	委員	フードロス問題に関してですが、当市においても「フードバンク事業」が行われております。食品ロスを少しでも減らすためには「食品ラベル表示」の簡易な見方ですとか、賞味期限・消費期限の区別、古い日付からの食品購入等の周知を行う必要があると考えます。	(ごみ減量課)各説明会等にて、賞味期限・消費期限の違いや、すぐ食べるものは、商品棚の手前にあるもの(賞味期限が近いもの)から購入する「てまえどり」を周知しています。引き続き食品ロス削減の取り組みを推進していきます。
4	委員	市民の健康寿命の延伸、肥満対策、生活習慣病など疾病に関すること、とても重要であると考えます。上段でも、述べさせていただきましたが、その情報を共有する為にも、積極的な連携を推進するし、活動していくとが大切と考えます。 アンケートによる情報収集なども、もう少し分母を広げる為、SNSの活用など考えてみてはいかがでしょうか？	(健康増進課)「食育に関する市民意識調査」は、20歳以上の市民について無作為抽出をして実施しましたが、対象を特定しないで多くの情報を収集する場合にはSNS等の活用を検討していきます。
5	委員	計画の内容の①方向性に書かれていることですが、中高年の肥満・生活習慣病は食育で改善できるケースが多いと思います。わたくし事ですが、食育推進会議の委員になったことをきっかけに、食事を改善することで減量し、BMIも25を切りました。腹部も平らになり、身体も軽く感じ、食育の良さを実感しています。そうすると、同世代の肥満体系の方が周りに多くいることが気になり始めました。	(健康増進課)適正体重を維持している人を増やす(肥満ややせを減らす)ことについては、前橋市健康増進計画「健康まえばし21」において評価指標となっています。職場における食育を推進していくため、生活習慣病を予防することを目的に、次年度は新たに食事や運動等の個別支援を内容とした講座を実施予定です。

(3)食育に関する市民意識調査の単純集計結果について

意見・質問あり

1	委員	年代や男女比などの比率がばらついており、多世代の実態が反映されているので良いと思います。アンケートのまとめ方ですが、単純集計だけでなく、クロス集計や検定なども行うと、年代毎の特徴や関連が見えると思いました。これは次の第4次計画で実施してみると良いと思います。	(健康増進課) 今回の調査では、検定を実施していませんが、今後検討します。
2	委員	拝見した結果では、小学生ではなんといっても朝食の欠食とその理由が目にとまります。欠食の理由として、朝ごはんの支度がしてない、家族もご飯を食べないからという理由が挙げられています。また、子どもたちだけで食べている状況もみえてきます。中高校生では、自らの食生活の問題点に気づきながらも改善の方法がわからないまま日々の生活を送っている様子が想像できます。専門・短大・大学生になっても引き続き朝食の欠食、コンビニの利用と野菜不足の問題などを挙げるすることができます。この世代で見えてきた課題は、20歳以上の市民にとっても生活習慣病の要因に繋がっていくものと考えられます。これらの集計にはご苦労があると思いますが、ライフステージ別の食生活の現状を把握することができ、第4次食育推進計画策定の基礎資料に有効であると思われま。より深い分析が進むことを期待します。今回、新たにアンケートを実施した専門・短大・大学いわゆる若い世代の回答率が24.1%と低かったことはたいへん残念でした。今後はアンケートの回収にも協力させていただきます。	(健康増進課) 将来を担う若い世代を対象とした食育の推進は次期計画でも取り組むべき課題であり、朝食欠食のほか、食に関する実態を分析し、次期計画に反映していきます。
3	委員	食や健康に関する貴重なデータになるのではないのでしょうか。各年代ごとに共通質問の傾向、課題をグラフ化して比較することで見えてくることもあるのではないかと思います。	(健康増進課) 各年代による食習慣の傾向や、課題についても分析を進めていきます。
4	委員	20歳以上の市民を対象とした意識調査の中で、平成28年調査と比較したもののうち、食生活で心がけていることはありますかという項目で、買いすぎ、作りすぎに気をつけ、食品の廃棄が少なくなるようにするというところで、平成28年度より令和3年度の調査では8.4%増えていたので、少し意識が良い方向へなってきたと思えました。これからも、食品ロスなどに関心を持っていきたいと思えます。	(健康増進課) 食品ロスは、食育推進計画における主な取り組み内容としてだけでなく、持続可能な開発目標(SDGs)においても食品ロスの削減が位置づけられていますので、次期計画においても引き続き推進していきます。

5	委員	<p>大量の意識調査の実施及び集計大変ご苦勞様でした。朝食を各世代で食べない方がいることが心配です。朝食を食べない方々が親となった時、当然そういう習慣になる可能性が高いと思えるからです。20歳以上の方々の中には、詳細は分かりませんが、朝・昼・夕 野菜を全く摂らない方がいるというのは正直ビックリ致しました。食べ物の好き嫌いは、ある意味親の食生活が大きいと思えます。バランスの取れた食事について議論されることはあるかと思われませんが、人はなぜ朝・昼・夕の3食推奨なのでしょう？世代によつての説明の仕方もあるかと思われませんが、20歳以上の方々のアンケート協力の最後に、当然理解しているとは思われますが、1日3食の効能・利点・必要栄養等について説明文の追加で朝食を摂らない方の減少につながれば、また親となったときに変えようという変化があれば良いかと思いました。</p>	<p>(健康増進課) 前述と同様、将来を担う若い世代を対象とした食育の推進は次期計画でも取り組むべき重要な課題です。食に関する知識や望ましい食習慣を身につけていくために、朝食欠食や野菜摂取不足といった栄養課題を、次期計画に反映していきます。今回調査票に食情報を掲載できませんでしたが、調査結果について各学校に返却予定です。また、朝食摂取や栄養バランスの重要性等を、引き続き広く周知していきます。</p>
6	委員	<p>中高生の食育への関心の高さに驚きました。資料1の乳幼児健診からはじまる家庭での食育や、小・中高生が家族と夕食を食べる割合の高さからも、家庭内での日常的に行われている食育が子どもたちの食への関心につながっているのかなと、小・中高生の母として興味深く拝見しました。</p>	<p>(健康増進課) 前述と同様、食に関する知識や望ましい食習慣を身につけていくために、家庭や学校、地域などとの連携を深め、子どもたちへの食育を推進していきます。</p>
7	委員	<p>20歳以上の市民の回答率が前回と比較してだいぶ違うので、保健推進員、食生活改善推進員のお力がすごいなと思いました。今後もこの状況が続くようなら方法を考えた方がよいのでは。</p>	<p>(健康増進課) 「食育に関する市民意識調査」は、20歳以上の市民については無作為抽出により実施しました。次回実施時には、回答率を上げるための方法を検討していきます。</p>
8	委員	<p>20歳以上の市民の単純集計表「朝食を食べない最も大きな理由」の回答で「無回答」が3割を超えトップです。問題解決のプロセスとしては、その問題が起こる理由＝原因を把握して、それを解消する対策を立てることになると思います。理由が不明だと対策を立てにくいと思います。現状把握も重要ですが、問題発生の原因を突き止めることもアンケートの重要な役割の1つだと思います。どのアンケートについても言えますが、無回答がなるべく発生しないように工夫することが、問題解決の対策を立てるうえで有効だと思いました。(きちんと回答しない大人もよくないのですが…)</p>	<p>(健康増進課) 用紙であると無回答が出てしまうことが課題です。WEB回答を勧めることや、質問数などを検討していきます。</p>
9	委員	<p>学生たちへのアンケートは、子を持つ親としてとても興味深いものでした。食について考えさせられる機会になるとと思いますが、一般の方がこの集計表を見ることはできますか？</p>	<p>(健康増進課) 本会議の報告として、市ホームページに公表しますので、ご覧いただくことができます。</p>

2 その他

意見・質問あり

1	委員	<p>幼稚園、学校など、子どもや親も一緒に参加できるような食育教室などの実績はありますか？おうち元気教室などのように定期的に学校で学べる機会があるとおもしろいと思います。</p> <p>これからの時代、食の流通の問題などを考えると、地産地消とても大切になってくると思います。本当に人間にとって必要な食事とは、みんなで考える機会をぜひ！子どものころから、食の大切さ、考えられるようになってほしいです。</p>	<p>(健康増進課)食生活改善推進員の活動の一つに、おやこの食育教室という取り組みがあります。今年度はコロナ禍により、調理実習は実施できませんでしたが、地区によって家庭訪問による資料配布や、地域の子どもが所属する団体等に声をかけての資料配布をしました。また、学校においては、共同調理場の栄養士が食育に関連した資料等の配布や校内放送により食育指導を実施しています。</p>
---	----	---	---